

大会開催における留意事項（日ア連）

2020.06.16

このガイドラインは、あくまで目安であり、新型コロナウイルスの感染状況が日々変化している中では、その状況や地域の実情を踏まえて、臨機応変に対応していただきたい。

また、アイスホッケーは、リンク上での接触プレーが避けられず、プレイヤーズベンチや選手控室での密集も避けられない競技である。

大会を開催する際には、このことを深く自覚し、可能な限り、下記留意事項を遵守していただきたい。

1 基本的対策

- ① 参加選手、同伴者、観戦者等に対し、マスクの着用並びに手洗い・アルコール消毒など手指衛生を周知徹底する。
- ② 会場の出入口及び大会本部等にアルコール消毒剤や非接触型体温測定器を備える。
- ③ 発熱等の症状を有する、及び14日以内に接触が確認された参加選手、同伴者、観戦者等に対し、会場への入場を見合わせるように周知する。
- ④ チーム関係者内で発熱や嗅覚異常など新型コロナウイルス感染症が疑われる症状を発症した場合は速やかに連盟に報告し、医療機関を受診する。
- ⑤ 新型コロナ対応を含めたEmergency Action Plan（緊急時対応計画）を準備する。

2 大会運営

- ① 開会式や監督会議など、多人数を一定時間、同じ空間に拘束する催しは行わず、印刷物の配布や電子メール及びインターネットを介した映像会議での配信等によって省略する。
- ② レフェリー等による対戦チームのユニフォーム合わせは、事前に写真を送ることなどにより省略する。
- ③ 印刷物を配布する担当者は、使い捨て手袋を着用し、作業の合間に特に手洗いやアルコール消毒に努める。
- ④ 大会本部に充てている部屋は、可能な限り、消毒と換気に努める。
- ⑤ 怪我等の応急措置に備え、救護室または大会本部に使い捨て手袋やマスクを常備する。
- ⑥ 大会の一環としての集客イベントや、おもてなしとしての飲食物の提供は行わない。
- ⑦ 関連行事としての懇親会や慰労会は開催しない。

- ⑧ 関係者以外の観戦は控えてもらう。
- ⑨ 関係者であっても、近接しての観戦や声を出しての応援は控えてもらう。
- ⑩ リンク内でのチームの移動は所定された導線に従い移動し、密を避ける。

3 競技運営

- ① 試合終了後の握手はしない。素手でのハイタッチもしない。
- ② リンク上やプレイヤーズベンチ内などでは、唾を吐かない。
- ③ プレイヤーズベンチでは、可能な限り近接して座らない。
- ④ スクイズボトルやタオル等の使いまわしは絶対にしない。
- ⑤ チームスタッフは、常時マスクを着用する。
- ⑥ レフェリーやラインズマンは手袋を着用し、ピリオド終了ごとに手洗い・うがいを行う。
- ⑦ オフィシャルボックスやペナルティボックスの競技役員は、常時マスクを着用するとともに、換気やドアノブ・電光掲示操作盤などの消毒に努める。
- ⑧ 選手控室に充てている部屋は、可能な限り、消毒と換気に努める。
- ⑨ 更衣室など人の密集する部屋の利用は、可能な限り短時間に抑えるとともに、時間差を設けて使用するなど過密にならないように留意する。
- ⑩ 自動車利用者は、インナーなど可能な範囲で着替えは自宅で行い、選手控室（更衣室）での作業は最小限にしてもらう。
- ⑪ 試合後には、ヘルメットやグラブ、スティック、スケート靴など他人の飛沫がつきやすい用具の消毒、ジャージやストッキングなどの洗濯を行うように注意喚起する。
- ⑫ チーム内で出たゴミは、チーム内で回収し、チーム関係者が帰宅後に破棄する。（リンクでは捨てない。）